

① 実態把握シート

G 班

学校の課題

国語は全体的に低い
 国語が苦手
 A基礎が定着
 実点0

国語の文章の読み方がわからない(見解)
 A 読める、内容把握
 読んではいるが
 A = 2 =
 読者の意図が
 B 読めていない、
 読んではいる
 比入で読み比べが弱い

×自分の考えを持ち
 整理し関係付け
 ら書くといい
 文の意味の理解を
 する
 関係性を書く

書く ×
 { 選択
 比較
 根拠

話し合いの視点
 立場を明確にして
 質問を返す

話す

学習意欲 ×

友達の考えを聞いて
 いる
 意欲的な学習態度
 が見れない
 学習の理解はしているが
 意欲が低い

読み ×
 { 内容把握 ?

B: 根拠を明確に
 表現できない

聞く姿勢の不足

考えを丁寧に説明する
 場が少ない → 個別で

学習が活用できる場

総合などの調べ学習が
 少ない(総合が)
 B: 実生活と関連づけ
 にくい

学ぶ楽しさを知らない

グループでの話し合い
 が少ない

話し合い

A: 基礎・基本△

課題をまとめると...
 国語の力(読み 書. 話し 聞く)
 算数の基礎基本

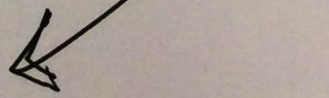
研究主題 自ら考え、学び合う子の育成	
研究教科 小学校 (国語) 算数	中学校: 全教科
目指す子供の姿 習得した知識や技能を 生かし主体的に取り組む子	目指す授業像 自分の考えを持つことができる 学び合いにより互いの考えを 深め合う

研究の重点(柱) 2つ~3つ A 授業改善 B 言語活動の充実 C 並行読書
A: 授業改善の視点(3つ程度) ① 明確な課題設定 ② 単元を貫く言語活動 ゴールを提示する ③ 話し合い 授業の最初に音読を入れる <small>声 漢字 言葉の意味</small>

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">2番</div> 単元のはじめにゴールとなる言語活動を提示。 毎時限の学びを可視化

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">3番</div> 声読、グループ音読 グループ活動のシリアライズ化



月	内容			
4月	研究方針の 提案	目指す授業像の 共通理解	学力調査の 自校採点	学力調査問題の 出題傾向の把握
5月	模擬授業	自校分析	学力向上プラン の策定	
6月	研究授業	授業交流		
7月				
8月	講師招聘	学力調査の 結果分析	検証	
9月	学力向上プラン の見直し			
10月	模擬授業			
11月	要請訪問			
12月	授業交流			
1月				
2月	次年度の 計画	検証		
3月				